

令和 7 年度

十日町地域広域事務組合
一般会計・特別会計決算審査意見書



十日町地域広域事務組合監査委員

十 広 監 第 14 号

令和 8 年 9 月 7 日

十日町地域広域事務組合

管理者 十日町市長 関 口 芳 史 様

十日町地域広域事務組合

監査委員 渡 邊 修

監査委員 中 林 寛 暁

令和 7 年度十日町地域広域事務組合一般会計・特別会計特別会計

歳入歳出決算の審査結果について

地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付された令和7年度十日町地域広域事務組合一般会計・特別会計特別会計及び証書類、その他政令で定める書類について審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

目 次

第1 審査の種類	1
第2 審査の対象	1
第3 審査の実施場所及び実施日	1
第4 審査の方法	1
第5 審査の結果	1
1 総括	
(1) 決算収支の状況	2
(2) 予算執行の状況	2
2 一般会計	
(1) 歳入	3
(2) 歳出	6
3 家畜指導診療所特別会計	
(1) 歳入	9
(2) 歳出	11
4 基金	
(1) 基金現在高	12
5 むすび	13

(注)

- 文中の金額は、原則として万円単位で表示し、単位未満を切り捨てた。また、比率(%)については、小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
- 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」：該当数値はあるが単位未満のもの
 - 「－」：該当数値がないか、あっても算出不能又は無意味なもの
 - 「△」：減またはマイナス
 - 「皆増」：前年度に数値がなく、全額増加したもの
 - 「皆減」：当年度に数値がなく、全額減少したもの

令和 7 年度十日町地域広域事務組合 一般会計・特別会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の種類

決算審査（地方自治法第 233 条第 2 項の規定による審査）

第 2 審査の対象

令和 7 年度 十日町地域広域事務組合一般会計歳入歳出決算

同 十日町地域広域事務組合家畜指導診療所特別会計歳入歳出決算

第 3 審査の実施場所及び実施日

実施場所 十日町地域広域事務組合 多目的ホール 3

実 施 日 令和 8 年 8 月 31 日（月）

第 4 審査の方法

審査に当たっては、審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び決算付属書類が関係法令に順序して作成されているか、予算の執行が適切に行われているか、計数が正確なものとなっているかなどに主眼を置き、証書類の証拠を十日町地域広域事務組合監査基準に準拠して行った。また、関係職員から決算の内容、事業の説明を聴取するとともに、既に実施した例月現金出納検査、定期監査の結果についても参考とし審査した。

第 5 審査の結果

審査に付された各会計の決算等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は正確であると認められた。また、予算の執行についてもおおむね適正であると認められた。

審査の概要及び意見は、次のとおりである。

1 総 括

(1) 決算収支の状況

(単位:万円)

区 分		一般会計	特別会計	計
歳入総額	A	236,991	2,964	239,956
歳出総額	B	229,378	2,776	232,154
形式収支 (A－B)	C	7,613	188	7,801
翌年度へ繰り越すべき財源	D	109	0	109
実質収支 (C－D)	E	7,504	188	7,692
前年度実質収支	F	6,329	217	6,546
単年度実質収支 (E－F)	G	1,174	△28	1,146

※本表は、決算書の「実質収支に関する調書」より作成した。

令和7年度の決算収支状況は、一般会計と家畜指導診療所特別会計を合わせた決算総額は、歳入23億9,956万円、歳出23億2,154万円、形式収支（歳入歳出差引額）は7,801万円となった。翌年度へ繰り越すべき財源109万円を差し引いた実質収支で7,692万円の黒字となった。

前年度の実質収支額を差し引いた単年度実質収支額は、一般会計では1,174万円の黒字、特別会計は28万円の赤字となり、2会計合計で1,146万円の黒字となった。

(2) 予算執行の状況

(単位:円・%)

会計 区分	予算現額①	歳 入				歳 出	
		調定額②	収入済額③	③/①	③/②	支出済額④	④/①
一般	2,354,894,000	2,396,316,149	2,369,916,149	100.6	98.9	2,293,782,325	97.4
特別	30,430,000	29,644,949	29,644,949	97.4	100.0	27,760,574	91.2
合計	2,385,324,000	2,425,961,098	2,399,561,098	100.6	98.9	2,321,542,899	97.3

一般会計と特別会計を合わせた歳入の予算現額に対する収入済額の割合は100.6%、調定額に対する収入済額の割合は98.9%である。また、歳出の予算額に対する支出済額の割合は97.3%である。

2 一般会計

(1) 歳入

(単位:円・%)

区 分	予算現額①	調定額②	収入済額③	収入未済額	③/①	③/②
令和7年度	2,354,894,000	2,396,316,149	2,369,916,149	26,400,000	100.6	98.9
令和6年度	1,862,692,000	1,894,204,311	1,838,387,311	55,817,000	98.7	97.1
増 減	492,202,000	502,111,838	531,528,838	△29,417,000	1.9	1.8
比 率	126.4	126.5	128.9	47.3	—	—

収入済額は23億6,991万円で、前年度に比べ5億3,152万円増加した。

増加した主なものは、組合債で本部庁舎建設に係る借換債3億4,040万円である。

収入未済額2,640万円は、翌年度に繰越となった資機材搬送車に係る緊急防災・減災事業債である。

1 款 分担金及び負担金

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算対比	調定対比
令和7年度	1,800,122,000	1,800,122,000	1,800,122,000	0	100.0	100.0
令和6年度	1,701,184,000	1,701,184,000	1,661,222,000	39,962,000	97.7	97.7
増 減	98,938,000	98,938,000	138,900,000	△39,962,000	2.3	2.3
比 率	105.8	105.8	108.4	皆減	—	—

収入済額は18億12万円で、前年度に比べ1億3,890万円(8.4%)増加した。

増加した主なものは、給与改定による職員人件費と車両購入によるものである。

2 款 使用料及び手数料

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	868,000	1,059,520	1,059,520	122.1	100.0
令和6年度	1,163,000	738,010	738,010	63.5	100.0
増 減	△295,000	321,510	321,510	58.6	0.0
比 率	74.6	143.6	143.6	—	—

収入済額は106万円で、前年度に比べ32万円(43.6%)増加した。

増加した主なものは、危険物関係申請手数料45万円である。

3 款 国庫支出金

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算対比	調定対比
令和7年度	28,930,000	28,766,000	28,766,000	0	99.4	100.0
令和6年度	15,855,000	15,855,000	0	15,855,000	皆増	皆増
増 減	13,075,000	12,911,000	28,766,000	△15,855,000	—	—
比 率	182.5	181.4	皆増	皆減	—	—

収入済額は2,876万円（皆増）で、災害対応特殊救急自動車と前年度より繰越となった南分署の消防ポンプ自動車に係る補助金である。

収入未済額は、0円（皆減）である。

4 款 財産収入

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	2,001,000	2,118,906	2,118,906	105.9	100.0
令和6年度	1,000	292	292	29.2	100.0
増 減	2,000,000	2,118,614	2,118,614	76.7	0.0
比 率	200,100.0	725,652.7	725,652.7	—	—

収入済額は211万円で、前年度に比べ211万円増加した。

増加した主なものは、更新により廃車となった車両の売却収入211万円である。

5 款 寄附金

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	110,000	100,000	100,000	90.9	100.0
令和6年度	10,000	0	0	皆減	皆減
増 減	100,000	100,000	100,000	—	—
比 率	1,100.0	皆増	皆増	—	—

収入済額は10万円で皆増した。

6 款 繰越金

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	22,039,000	63,293,749	63,293,749	287.2	100.0
令和6年度	25,629,000	58,235,409	58,235,409	227.2	100.0
増 減	△3,590,000	5,058,340	5,058,340	60.0	0.0
比 率	86.0	108.7	108.7	—	—

収入済額は6,329万円で、前年度に比べ505万円(8.7%)増加した。

7 款 諸収入

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	8,924,000	8,955,974	8,955,974	100.4	100.0
令和6年度	6,850,000	6,191,600	6,191,600	90.4	100.0
増 減	2,074,000	2,764,374	2,764,374	10.0	0.0
比 率	130.3	144.6	144.6	—	—

収入済額は895万円で、前年度に比べ276万円(44.6%)増加した。

増加した主なものは、緊急消防援助隊活動費負担金264万円である。

8 款 組合債

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算対比	調定対比
令和7年度	491,900,000	491,900,000	465,500,000	26,400,000	94.6	94.6
令和6年度	112,000,000	112,000,000	112,000,000	0	100.0	100.0
増 減	379,900,000	379,900,000	353,500,000	26,400,000	△5.4	△5.4
比 率	439.2	439.2	415.6	皆増	—	—

収入済額は4億6,550万円で、前年度に比べ3億5,350万円(315.6%)増加した。

増加した主なものは、本部庁舎建設に係る借換債で3億4,040万円である。

収入未済額2,640万円は、翌年度繰越となった資機材搬送車に係る緊急防災・減災事業債である。

(2) 歳出

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
令和7年度	2,354,894,000	2,293,782,325	97.4	27,491,000	33,620,675
令和6年度	1,862,692,000	1,775,093,562	95.3	55,817,000	31,781,438
増 減	492,202,000	518,688,763	2.1	△28,326,000	1,839,237
比 率	126.4	129.2	—	49.3	105.8

支出済額は22億9,378万円で、前年度に比べ5億1,868万円(29.2%)増加した。

増加した主なものは、本部庁舎建設に係る借換による緊急防災・減災事業債元金償還金3億2,678万円である。

翌年度繰越額は、繰越明許費2,749万円である。

一般会計の使途別経費の決算状況

(単位:万円・%)

区 分	令和7年度		令和6年度		前年度対比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
人件費	114,066	49.7	110,532	62.3	3,534	△12.6
物件費・維持補修費・扶助費・積立金	21,959	9.6	17,908	10.1	4,051	△0.5
補助費	6,611	2.9	6,112	3.4	499	△0.5
普通建設事業費	14,449	6.3	3,629	2.0	10,819	4.3
公債費	72,291	31.5	39,327	22.2	32,963	9.3
計	229,378	100.0	177,509	100.0	51,868	—

人件費は前年度に比べ3,534万円増加し、人件費以外の経費は4億8,334万円増加した。

構成比率の変動をみると、公債費が31.5%で前年度に比べ9.3ポイント増加したため、そのほかの経費の構成比率は、普通建設事業費を除き下がる結果となった。

1 款 議会費

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
令和 7 年度	524, 000	492, 105	93. 9	0	31, 895
令和 6 年度	501, 000	486, 503	97. 1	0	14, 497
増 減	23, 000	5, 602	△3. 2	0	17, 398
比 率	104. 6	101. 2	—	—	220. 0

支出済額は 49 万円で、前年度に比べ 5 千円（1. 2%）増加した。

議会費の主なものは、議員報酬及び費用弁償である。

2 款 総務費

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
令和 7 年度	36, 569, 000	35, 442, 502	96. 9	0	1, 126, 498
令和 6 年度	33, 747, 000	32, 600, 084	96. 6	0	1, 146, 916
増 減	2, 822, 000	2, 842, 418	0. 3	0	△20, 418
比 率	108. 4	108. 7	—	—	98. 2

支出済額は 3, 544 万円で、前年度に比べ 284 万円（8. 7%）増加した。

増加した主なものは、職員人件費 136 万円と例規集データベース更新・追録委託料 98 万円である。

3 款 消防費

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
令和 7 年度	1, 593, 582, 000	1, 534, 936, 591	96. 3	27, 491, 000	31, 154, 409
令和 6 年度	1, 434, 745, 000	1, 348, 733, 063	94. 0	55, 817, 000	30, 194, 937
増 減	158, 837, 000	186, 203, 528	2. 3	△28, 326, 000	959, 472
比 率	111. 1	113. 8	—	49. 3	103. 2

支出済額は 15 億 3, 493 万円で、前年度に比べ 1 億 8, 620 万円（13. 8%）増加した。

増加した主なものは、常備消防費のうち消防本部署費における職員人件費 4, 215 万円、屈折はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール等の修繕料 2, 975 万円、南分署費の消防ポンプ自動車や高規格救急車等の備品購入費 8, 674 万円である。

翌年度繰越額 2, 749 万円は、繰越となった資機材搬送車 1 台分である。

4 款 公債費

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
令和 7 年度	722, 913, 000	722, 911, 127	100. 0	0	1, 873
令和 6 年度	393, 275, 000	393, 273, 912	100. 0	0	1, 088
増 減	329, 638, 000	329, 637, 215	0. 0	0	785
比 率	183. 8	183. 8	—	—	172. 2

支出済額は 7 億 2, 291 万円で、前年度に比べ 3 億 2, 963 万円 (83. 8%) 増加した。
増加した主なものは、本部庁舎建設に係る緊急防災・減災事業債元金償還分 3 億 2, 678 万円である。

5 款 予備費

(単位:円・%)

区 分	当 初 予算額	補 正 予算額	補正後 予算額	充用額	予算現額	不用額
令和 7 年度	3, 000, 000	0	3, 000, 000	1, 694, 000	1, 306, 000	1, 306, 000
令和 6 年度	1, 000, 000	0	1, 000, 000	576, 000	424, 000	424, 000
増 減	2, 000, 000	0	2, 000, 000	1, 118, 000	882, 000	882, 000
比 率	300. 0	—	300. 0	294. 1	308. 0	308. 0

予算額 300 万円のうち 169 万円を他科目へ充用し、130 万円が不用額となった。
充用先科目は、常備消防費 140 万円、非常備消防費 4 千円、消防施設費 28 万円である。

3 家畜指導診療所特別会計

特別会計は、特定の事業を行うため又は特定の歳入を以て特定の歳出に充て、一般会計の歳出と区分して経理する必要がある場合に設ける会計である。

当組合における特別会計は1会計である。

(1) 歳入

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	30,430,000	29,644,949	29,644,949	97.4	100.0
令和6年度	41,915,000	41,142,009	41,142,009	98.2	100.0
増 減	△11,485,000	△11,497,060	△11,497,060	△0.8	0.0
比 率	72.6	72.1	72.1	—	—

収入済額は2,964万円で、前年度に比べ1,149万円(27.9%)減少した。

減少した主なものは、負担金894万円と手数料349万円である。

1 款 分担金及び負担金

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	19,670,000	19,670,000	19,670,000	100.0	100.0
令和6年度	28,610,000	28,610,000	28,610,000	100.0	100.0
増 減	△8,940,000	△8,940,000	△8,940,000	0.0	0.0
比 率	68.8	68.8	68.8	—	—

収入済額は1,967万円で、前年に比べ894万円(31.2%)減少した。

2 款 使用料及び手数料

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	7,834,000	5,137,290	5,137,290	65.6	100.0
令和6年度	9,383,000	8,627,878	8,627,878	92.0	100.0
増 減	△1,549,000	△3,490,588	△3,490,588	△26.4	0.0
比 率	83.5	59.5	59.5	—	—

収入済額は513万円で、前年度に比べ349万円(40.5%)減少した。

減少した主なものは、家畜指導診療手数料271万円である。畜産農家の廃業等による飼養頭数の減少が原因である。

3 款 繰越金

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	100,000	2,173,002	2,173,002	2,173.0	100.0
令和6年度	1,150,000	1,197,913	1,197,913	104.2	100.0
増 減	△1,050,000	975,089	975,089	2,068.8	0.0
比 率	8.7	181.4	181.4	—	—

収入済額は217万円で、前年度に比べ97万円(81.4%)増加した。

4 款 諸収入

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	調定対比
令和7年度	2,826,000	2,664,657	2,664,657	94.3	100.0
令和6年度	2,772,000	2,706,218	2,706,218	97.6	100.0
増 減	54,000	△41,561	△41,561	△3.3	0.0
比 率	101.9	98.5	98.5	—	—

収入済額は266万円で、前年度に比べ4万円(1.5%)減少した。

(2) 歳出

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
令和7年度	30,430,000	27,760,574	91.2	0	2,669,426
令和6年度	41,915,000	38,969,007	93.0	0	2,945,993
増 減	△11,485,000	△11,208,433	△1.8	0	△276,567
比 率	72.6	71.2	—	—	90.6

支出済額 2,776 万円で、前年度に比べ 1,120 万円 (28.8%) 減少した。

減少した主なものは、人件費 967 万円である。

特別会計の使途別経費の決算状況

(単位:万円・%)

区 分	令和7年度		令和6年度		前年度対比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
人件費	2,132	76.8	3,092	79.4	△959	△2.6
物件費・維持補修費・扶助費・積立金	610	22.0	753	19.3	△143	2.7
補助費	32	1.2	50	1.3	△18	△0.1
普通建設事業費	0	0	0	0	0	0
公債費	0	0	0	0	0	0
計	2,776	100.0	3,896	100.0	△1,120	—

人件費の減は獣医師の定年退職によるものである。

構成比率の変動をみると人件費は 76.8%で、前年度に比べ 2.6 ポイント減少した。

1 款 家畜指導診療所費

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
令和7年度	30,330,000	27,760,574	91.5	0	2,569,426
令和6年度	41,815,000	38,969,007	93.2	0	2,845,993
増 減	△11,485,000	△11,208,433	△1.7	0	△276,567
比 率	72.5	71.2	—	—	90.3

支出済額は 2,776 万円で、前年度に比べ 1,120 万円 (28.8%) 減少した。

人件費 967 万円で、獣医師 1 名の定年退職が減少の主な要因である。

2 款 予備費

(単位:円・%)

区 分	当 初 予算額	補 正 予算額	補正後 予算額	充用額	予算現額	不用額
令和 7 年度	100,000	0	100,000	0	100,000	100,000
令和 6 年度	100,000	0	100,000	0	100,000	100,000
増 減	0	0	0	0	0	0
比 率	—	—	—	—	—	—

予備費からの充用はなかった。

4 基金

(1) 基金現在高

(単位:円)

区 分	令和 6 年度末現在高	増減高	令和 7 年度末現在高
消防施設整備基金	652,778	100,946	753,724

一般会計予算で寄附金 10 万円と基金積立金利子 946 円を積み立てたことにより増加し、決算年度末残高は 75 万円である。

5 むすび

令和7年度の一般会計の決算状況は、歳入総額 23 億 6,991 万円、歳出総額 22 億 9,378 万円であった。前年度に比べ歳入が 5 億 3,152 万円、歳出が 5 億 1,868 万円それぞれ増加した。主な要因は庁舎建設事業分の借換債計上によるものである。

市町負担金は 1 億 3,890 万円増加しており、背景には、人件費や消防車両の購入など各種経費の増加が挙げられる。

消防施設整備においては、高規格救急車および消防ポンプ自動車の運用が開始された。これらは地域住民の安全確保に大きく寄与するものであり高く評価できる。さらに、耐震性貯水槽の新設や不要施設の解体撤去など、計画的な施設管理・更新が着実に進められていることは評価に値する。引き続き計画的な取組を進められるとともに、施設管理における経費削減という喫緊の課題に対して、新たな手法の研究と継続的な取組に努められたい。

消防団活動に関しては、第 76 回新潟県消防大会が 17 年ぶりに十日町市で開催されたことを契機に、地域における消防団活動への理解が一層深まることを期待する。消防団員数の減少が本地域でも深刻な課題となっており、このような状況下でも実効的な消防・防災活動を維持するためには、団員の確保・育成が不可欠である。処遇改善や魅力向上に一層注力し、将来にわたり持続可能な消防団運営が実現されることを強く期待する。

家畜指導診療所の決算は、歳入総額 2,964 万円、歳出総額 2,776 万円であり、前年度に比べ歳入が 1,149 万円、歳出が 1,120 万円それぞれ減少した。

これは、畜産農家の廃業や他の診療所への依頼先変更による手数料収入の減少、獣医師の定年退職に伴う人件費の減少が主な要因である。家畜指導診療所は、地域畜産を支える専門機関として、引き続ききめ細やかな指導・診療体制の継続が求められる。

令和7年度は全国的に自然災害が相次ぎ、本地域でも豪雪により住民生活への影響が生じた。今後も頻発・多様化する自然災害に備え、実践的な訓練の実施、関係機関との連携強化、地域防災力の向上を通じて、迅速かつ的確な危機管理体制の構築・維持に努められたい。

事業に投入される住民の貴重な税財源については、適正な管理を徹底するとともに、事務事業の一層の効率化・適正化を図ることが重要である。また、組合全体の資金管理においては、安全性を確保しつつ、有利息預金の活用などにより財源の確保・充実を進めるべきと考える。これらの取組を通じて、組合運営が着実に推進されることを期待する。